

地域学校
協働活動

休日OK ほかごOK 授業OK ちがくきょうどう通信

2024年
10月発行

こんにちは。令和6年度「ちがくきょうどう通信」です！！いよいよスタートしたコミュニティ・スクール。導入校においては、「無理なくやれることから着々と」取組を進めています。

学校と地域が同じ目標に立ち、連携・協働することは、学校を取り巻く課題を解決し、子どもたちの豊かな成長を支えるとともに、地域の活性化にもつながっていきます。

今号では、そんな学校と地域の連携の中心を担う「地域学校協働活動推進員」についてご紹介します！！



「地域学校協働活動推進員」



そもそも地域学校協働活動推進員って何??



地域住民等の中から学校と地域の橋渡し役として活動する方を、社会教育法により教育委員会が委嘱します。法律に基づく明確な立場で、地域学校協働活動の全体的なコーディネートをしてもらいます。

(社会教育法第9条の7②)

地域学校協働活動に関することについて、教育委員会の施策に協力して、地域住民等と学校との間の情報共有を図るとともに、地域学校協働活動を行う地域住民等に対する助言やその他の援助を行う



札幌市にもいるの??

います！！

今年度からモデル的にいくつかの学校で、地域学校協働活動推進員を配置しています。現在15名の推進員の方が学校と地域の連携・協働における様々な場面で活躍しています。



どんな人がなれるの??

下記の項目に当てはまる方を学校長が推薦し、教育委員会が委嘱します。

- ・地域において社会的信望がある方
- ・地域学校協働活動に理解があり熱意を持つ方
- ・学校と地域のことをよく知っている方

はじめから「なんでもできる」方を探すのは難しい場合があります。

活動を通して学校とともに学んでいくという「長期的な視点」を持つことも必要です。

教育委員会では地域学校協働活動推進員を対象にした研修の実施や情報交流会を企画しています。



どんなことをしているの? →裏面で事例をご紹介します





発寒小学校（地域学校協働本部）
はっさむ小みらい☆プロジェクト



*** くるみ de フロアカーリング ***

発寒小学校には2名の地域学校協働活動推進員がいます。スクールガードや、学びのサポーターも兼任するなど、日ごろから学校や児童と関わりを持った方々です（最近まで同校の保護者でもありました）。

ご紹介する活動は、特別支援学級の授業の中で取り組んだ「フロアカーリング」体験。あまり馴染みのない競技かもしれませんが、プレイ自体難しくなく、だれでも気軽に楽しむことのできるチームスポーツです。もともと同校では、地域学校協働活動として、土曜日や学校の長期休業日を活用して実施していました。

今回、この取組に関心をもった特別支援学級の先生から、推進員に打診があり、道具のレンタルや地域のスポーツ団体に協力を要請するなど、推進員の各種調整により、授業内での実施が実現しました。

当日は「くるみ学級」の児童全員が体育館に集合し、先生や（校長先生も参加！）、地域学校協働活動推進員、ご協力いただいた西区スポーツ推進員が参加して、児童一人ひとりに目を配り、安全に配慮しながら実施しました。

児童は投球の成功、失敗に一喜一憂し、皆一生懸命に諦めることなく取り組み、ファインプレーにはハイタッチを交わすなど、スポーツに親しみ仲間を思いやる気持ちが育まれる、とても素晴らしい活動になりました。



発寒小学校は今年度のコミュニティ・スクール導入校の一つです（西陵中学校区）。地域学校協働活動推進員は学校運営協議会にも委員の一人として参加します。地域の情報を共有して、地域全体で子どもたちの成長を支える活動へとつなげていきます。

Topics コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

これまでも紙面でお伝えしてきたとおり、コミュニティ・スクールは地域学校協働活動との一体的な推進が求められているところです。学校と地域との連携・協働をうまく機能させるためには、関係する皆さんが、地域の子どものために「当事者意識」を持つことが大切であるとともに、組織としてもしっかりとしたコーディネート機能を持つことが重要です。

今号で特集した地域学校協働活動推進員は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動をつなぐ、中核的な役割を担うことが期待され、その役割は今後一層重要になってくると考えています。教育委員会では、研修機会の充実を図るなどし、地域学校協働活動推進員をサポートしていきます。



第1回地域学校協働活動推進員情報交流会